

A.....01
下御霊神社
ケヤキ



寺町通丸太町下下御霊前町

●高さ 19.9m ●幹周 2.41m
にれ科 / 落葉高木

民家が建ち並ぶ町中では珍しく大木に育ち、
周辺からもよく目立ちます。

A.....02
下御霊神社
オカタマノキ



寺町通丸太町下下御霊前町

●高さ 12.2m ●幹周 1.87m
もくれん科 / 常緑高木

招霊(おきたま)からその名が付いたといわれ、
神社ではよく植えられます。

A.....03
下御霊神社
サルスベリ



寺町通丸太町下下御霊前町

●高さ 13.7m ●幹周 1.00m
みそはぎ科 / 落葉小高木

中国南部の原産で、日本には17世紀にもたら
されたといわれています。

A.....04
下御霊神社
イロハモミジ



寺町通丸太町下下御霊前町

●高さ 14.4m
●幹周 0.94m
かえで科 / 落葉高木

創建836年と伝えられている神
社で、上御霊神社とともに京都
の御霊神社の代表格です。16世
紀末に現在の地に移転しました。
付近は「天明の大火」に見舞わ
れているため、樹木はそれ以降
に植えられたものと思われます。
イロハモミジは京都近郊の山地
に多く、春の芽生え、秋の紅葉
が美しいので、庭木としてよく
用いられます。

サルスベリ

みそはぎ科

中国原産の落葉樹。日本には江戸時
代に渡来しました。幹肌はなめらかで
つるつるしていて、樹皮がはがれ落ち
た跡は白くなります。7月から9月の
夏の盛りに、紅や白などの花を咲かせ
ます。別名の百日紅(ヒャクジツコウ)
は、花の咲いてい
る期間が長いこ
とから名付け
られました。

